記載例　自動車運転以外の業務（限度時間を超えない場合）

様式第９号（第16条第１項関係）

時間外労働 休日労働 に関する協定届

労働保険番号	□□□□□□□□□□□□□□ （都道府県／所掌／管轄／基幹番号／枝番号／被一括事業場番号）
法人番号	□□□□□□□□□□□□

事業の種類	事業の名称	事業の所在地（電話番号）	協定の有効期間
貨物自動車運送事業	○○運輸株式会社　○○営業所	（〒○○○－○○○○） ○○市○○町１－２－３ （電話番号：○○○－○○○－○○○○）	○年４月１日から１年間

		時間外労働をさせる必要のある具体的事由	業務の種類	労働者数（満18歳以上の者）	所定労働時間（１日）（任意）	延長することができる時間数					
						１日		１箇月（①については45時間まで、②については42時間まで）		１年（①については360時間まで、②については320時間まで）	
										起算日（年月日）	○年４月１日
						法定労働時間を超える時間数	所定労働時間を超える時間数（任意）	法定労働時間を超える時間数	所定労働時間を超える時間数（任意）	法定労働時間を超える時間数	所定労働時間を超える時間数（任意）
時間外労働	① 下記②に該当しない労働者	別添協定書記載のとおり	荷役作業員	別添協定書記載のとおり	７．５時間	別添協定書記載のとおり	４．５時間	別添協定書記載のとおり	５０時間	別添協定書記載のとおり	４００時間
		同　上	自動車整備士	同　上	７．５時間	同　上	４．５時間	同　上	５０時間	同　上	４００時間
		同　上	経理事務員	同　上	７．５時間	同　上	４．５時間	同　上	５０時間	同　上	３２０時間
	② １年単位の変形労働時間制により労働する労働者	同　上	荷役作業員	同　上	７．５時間	同　上	３．５時間	同　上	４５時間	同　上	３５０時間
		同　上	自動車整備士	同　上	７．５時間	同　上	３．５時間	同　上	４５時間	同　上	３５０時間
		同　上	経理事務員	同　上	７．５時間	同　上	３．５時間	同　上	４２時間	同　上	３００時間

	休日労働をさせる必要のある具体的事由	業務の種類	労働者数（満18歳以上の者）	所定休日（任意）	労働させることができる法定休日の日数	労働させることができる法定休日における始業及び終業の時刻
休日労働	別添協定書記載のとおり	荷役作業員	別添協定書記載のとおり	土日祝日	別添協定書記載のとおり	別添協定書記載のとおり
	同　上	自動車整備士	同　上	土日祝日	同　上	同　上
	同　上	経理事務員	同　上	土日祝日	同　上	同　上

上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数は、１箇月について100時間未満でなければならず、かつ２箇月から６箇月までを平均して80時間を超過しないこと。☑

（チェックボックスに要チェック）

協定の成立年月日　　○○年　○○月　○○日

協定の当事者である労働組合（事業場の労働者の過半数で組織する労働組合）の名称又は労働者の過半数を代表する者の　職名　○○課　○○係　○○　氏名　○○　○○　（又は　○○運輸労働組合）

協定の当事者（労働者の過半数を代表する者の場合）の選出方法（　投票による選挙　）　※協定の当事者が労働組合である場合は記入不要

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。☑

（チェックボックスに要チェック）

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第２号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。☑（チェックボックスに要チェック）※協定の当事者が労働組合である場合はチェック不要

○○年　○○月　○○日

使用者　職名　代表取締役　氏名　○○　○○

○○　労働基準監督署長殿

※　自動車運転の業務等については、令和６年３月31日まで上限規制の適用が猶予されており、上限規制が適用されませんので、様式第９号の４で届出してください。